第２１回「ジュニアゴルファー検定員認定講習会」並びに

「ジュニアゴルファー検定事業者認定会」開催報告

関西地区での講習会第２弾として平成２４年３月３１日（土）に菊水ゴルフクラブ（兵庫県）にて第２１回「ジュニアゴルファー検定員認定講習会」並びに「ジュニアゴルファー検定事業者認定会」を開催しました。今回会場を提供して頂きました菊水ゴルフクラブの「北 勝成支配人」と「大菊信義プロ」より当日の感想を頂く事ができましたのでご紹介させて頂きます。

＜支配人　北　勝成＞

菊水ゴルフクラブで「検定員認定講習会、事業者認定会」を開催し、趣旨説明を聞きながら「継続的に取り組むことのできる環境づくり」を行い、そこから「日々の練習に動機づけ」や、「やる気」「達成感」が体感でき、また新たなステップにチャレンジできるこのシステムはゴルフを通じて自然と様々な事が体験できるので素晴らしいプログラムだと改めて思いました。

そこには検定員も特にマナーにおいてはあまり妥協せず、しっかり躾を行うという心掛けが大事ではないかと感じました。また、ジュニアゴルファー検定会においてはペーパーテストはみんな時間まで頑張っていましたが、一問不正解の子が多く全問正解でないと合格にならないので少し気の毒な気がしました。これにめげないで頑張ってほしいと思います。実技に関してはどの子も申し分なかったと思います。日頃の練習の成果が出ていました。

挨拶に関しては、日頃が大切でいつも出来ていない子はやはり急には出来ません。

また、声が小さい子や挨拶の時に止まれない（体をまげたり、よそ見をしたり）子が多いと感じました。しつけとは、「お」をつけて「おしつけ」ないとだめですよと昔、何かの講習会で教えてもらったことを今でもよく覚えています。

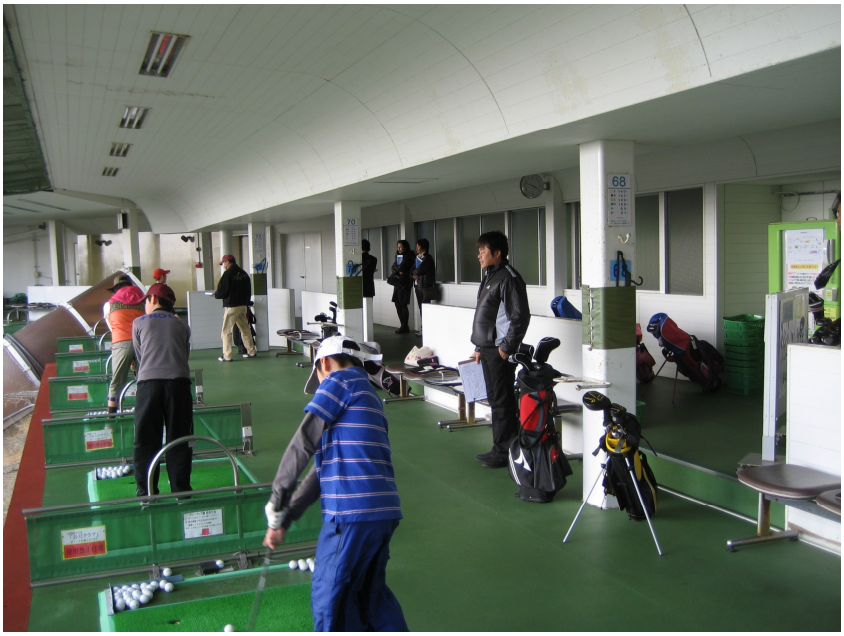
ゴルフを通じて短い時間なので教育まではいかないと思いますが、くせづくりはできると思いますので、言い続けて行きたいと思います。次回は 7 月と 12 月に予定していますが、子供たちの成長を見るのが今から本当に楽しみです。

左：横山雅也副会長、右：北野友之副会長（菊水ゴルフクラブ代表）

＜インストラクター　大菊信義＞

今回、菊水ゴルフクラブでジュニアゴルファー検定を初めて実施しました。

この制度自体が関西ではまだあまり知られていないのが現状で、受講するジュニアの子供たちも少し緊張していたと感じを受けました。

ペーパーテストでは思いの外、スラスラと解いている姿が見られ「簡単だったな～」と行った顔をしている子供も多く、余裕すら感じました。実技テストになるといつも練習しているように生き生きと楽しくテストに臨んでいるようには感じ、子供たちは本当にボールを打つのが好きなんだなと思いました。全てのテストを終え、少し子供たちと話をしてみると「今回のテストに向けて毎日のように練習に励んでいた子もいて「テストに受かりたい」「上手くなりたい」といったヤル気や向上心が感じられました。

ゴルフの技術や知識はある程度のレベルまで出来ているが、みな声が小さく、きちんと挨拶が出来ていない子がほとんどだったので、今後は技術や知識以上に礼儀正しさ等を徹底していきたいと思います。